

新規職員紹介



文京藤の木荘
あくせす
くりはら みつひろ
支援員 栗原 光弘

令和3年度4月より文京藤の木荘支援員とあくせす相談員として兼務し、日々刺激を受けながら、挨拶と笑顔を大切に勤務させていただいております。一度離職を致しましたが、ご縁があり、この度復職させていただきました。

幅広い年齢層の利用者の方々、ご家族の日々のご相談やご利用があります。お一人お一人の気持ちに寄り添いながら、ワンチームで取り組み、各関係機関とも連携し、少しでもお役に立てられればと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。

今年度より、常勤職員となりました渡邊優佳と申します。は〜と・ピア、陽だまりの郷の兼務をさせていただいております。

は〜と・ピア、陽だまりの郷で皆さまとの触れ合う中で見せて下さる笑顔や、かけて下さる言葉、楽しみや達成感を共感することが嬉しく、毎日が貴重な時間です。

「一人が笑えば二人が笑う。二人が笑えばもっとたくさんの方が笑う。」そんな笑顔が広がっていく環境を作っていくように努めてまいります。

今後ともよろしくお願い致します。



は〜と・ピア
陽だまりの郷
わたなべ ゆか
支援員 渡邊 優佳



文京藤の木荘
ぱれっと
くろだ つかさ
支援員 黒田 司

今年度より文京槐の会の常勤職員となりました、黒田司と申します。文京藤の木荘とぱれっとを兼務させていただいております。

余暇の時間や学校、生活介護以外の時間を利用者の方々には楽しく有意義に過ごしていただき、ご家族には安心して利用していただけるように試行錯誤を重ねて業務にあたらせていただいております。

利用者の方々の「笑顔」が見られたときに、この仕事に毎日やりがいを感じております。

まだまだ至らぬ点も多いと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

【編集後記】

2021年7月23日から東京オリンピック、8月24日から東京パラリンピックが開催されました。メダルラッシュに日本中が沸きました。連日テレビやネットで試合を観戦していましたが、卓球男子シングルのとある試合に衝撃を受けました。エジプトのイブラヒム エルフセイニ・ハマドトウ選手です。両腕が無く、ラケットは口にくわえ、足の指にボールを挟んでサーブをします。試合後は「不可能はないということを証明したい。できないことはないと世界中の人に知ってほしい」と答えていました。スポーツに限らず、いろんなことに『挑戦する大切さ』を教えてくれた気がします。

広報委員会 戸井田 香穂



お問い合わせ先
社会福祉法人 文京槐の会
〒112-0012 東京都文京区大塚4-21-8
TEL: 03-3943-4300 FAX: 03-3943-4330
E-mail: enju@tcn-catv.ne.jp



社会福祉法人 文京槐（えんじゅ）の会

しあわせの木

発行日 令和3年10月22日

31号

新規事業開所のお知らせ

地域活動支援センター

「ぱれっと」



文京槐の会では、令和3年4月より、「地域活動支援センター ぱれっと」を開所致しました。事業の目的は、通所施設利用後の余暇を充実させることにあります。通所施設等は午後4時までには活動終了となる事業所が多く、近年では利用時間後の支援ニーズが高まり、夕方時間帯の福祉サービス提供が課題となっていました。こうした課題に対して、文京槐の会が地域活動支援センターを開所し、ご利用いただけるサービスを拡充することで、ご本人・ご家族にとって充実した時間をご提供したいと考えています。

コロナ禍ということもあり、まずは法人内の利用者さまへのご案内からスタートした「ぱれっと」ですが、10月からは文京区在住または文京区内の施設に通所している方に対象を広げてご案内しています。

ご利用いただく皆さまからご意見をいただきつつ、活動内容を充実させて参りたいと思いますので、ご興味のある方はぜひ一度ご連絡ください。



【お問い合わせ】
文京槐の会 文京藤の木荘
電話 (3943) 4300
Eメール palette.enju@gmail.com



は〜と・ピア、は〜と・ピア2では、利用者の皆さんの生活の質の向上や社会との関わりを繋げていくことのひとつに「働く」ことを行っております。
様々な企業・団体様が関わって下さる中の企業・団体様にご挨拶を頂きましたのでご紹介させていただきます。



一般社団法人しごと・しあわせラボ

ふるいち りよ
代表理事 古市 理代 様

当団体は様々な要因で働きづらい方々も「はたらく」を通してやりがいをもって社会参加できるように、企業と地域そして人をつなげる社会づくりをしています。

今回、当団体のビジョンに共感を頂いた株式会社フィートインデザインさんから、主力製品であるオーダーメイドインソールの生地へのロゴ押印という業務委託を受けました。この作業は通常、製造工場内で行っている業務ですが、福祉施設内でも作業できるように専用機器をご準備いただき、現在は〜と・ピアに通所されている方々に毎月作業をして頂いています。業務開始にあたり、既存の機器では作業が難しい課題があり、どうしたら作業しやすくなるか考えながら機器の改良を重ねました。気づいたことは作業環境を調整するだけで普段作業が難しいと思われている人もスムーズに作業できるようになるということです。

業務を担って頂いている皆様の達成感や「はたらく」ことへの喜びに満ちた笑顔は私達にとっても大きな喜びです。



株式会社フィートインデザイン

くぼた あつし
代表取締役 久保田 敦 様

当社は人々の足腰の救済を通して、健康寿命の増進や日本における医療・介護費の削減をミッションに掲げて業務を行っております。主力製品はアメリカの足病医学に基づいて完全オーダーメイドで作成される高機能インソールです。トップアスリートをはじめ高齢者や子ども達にも幅広くご利用頂いております。

今回はしごと・しあわせラボさんとお話をする中で、法定雇用率を満たすことだけに目を向ける企業が多い中、そもそも他の正社員さんと同じように就労ができる方自体が少ないこと、そういった方々でも社会参加することで生き生きと仕事ができることを知り、彼らの短時間就労の1つとして業務を発注することにしました。

発注後は、ミスによる歩留まりも懸念されたのですが、それも杞憂に終わり、これまでの生産ラインと同じ質とスピードで納品頂けることに驚いております。また、こういった社会課題解決の取り組みをすることにより、社内でも障がいがある方に対する認識も変わり、良い意味で社員の「社会を見る目」が変化してきているのを感じます。

ENJU INFORMATION

第17回 共生のための文京地域支援フォーラム オンライン（ウェビナー）開催のお知らせ

『こころを支える地域を目指して』～ある方の生活を通して～

今回のフォーラムでは、こころの病を正しく理解し、当事者のお話を伺うことで、だれもが暮らしやすい地域づくりにつなげていきたいと思っています。

多く皆さまのご参加をお待ちしております。

- 日時：2021年11月21日（日）
午後1時30分～3時30分
- 講演 「こころの病の今と昔」
講師 行成 裕一郎氏（NPO法人エナジー本舗 理事長）
- インタビュー「精神の病から得たもの～いろいろな方とのかかわりを通じて～」
登壇者 中山 雅美氏（銀杏企画三丁目 移行分室 利用者）
聞き手 松尾 裕子氏（地域活動支援センターエナジーハウス 施設長）

URL : <https://bunkyo-chiikishien.jimdofree.com/>

申し込みフォーム
QRコード



作業風景

